

二つのことを想像してみてください。一つ目は、約1年前の去年4月の自分のことです。二つ目は、1年前の自分が、1年後の今の自分にどんな言葉を掛けたいかということです。

さて、この1年、折に触れて皆さんに伝えたいことを言葉にしてきました。

1学期には、「『人』を想い、自分を磨く北条高校生になろう。」「学校は、失敗を経験する場所。再スタートする場所。リスタートする勇気を持とう。」「自分で考え、自分で行動し、結果を引き受ける覚悟を持とう。」「終業式では「経験を意味付けよう。他の人の経験を意味付ける応援をしよう。」と。

2学期には、「内なる自信を持とう。」「文化祭では「文化の向こう側にいる『人』の存在を想像し、その人の持ち味を感じよう。」「終業式には「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。選択するのは自分。自分の意志を表現しよう。」と。

3学期には、「自分と異なる他者を理解し、信頼し、尊重する気持ちを持とう。」卒業式では、「心配しすぎなくていい。勇気と覚悟を持って行動できる人になろう。」と。

いろいろなことを伝えてきましたが、特に一年を通して「『人』を想い、自分を磨く」ことを皆さんに求めてきました。皆さんは、人のこと、自分のことを十分に想像しましたか。その想像の範囲、想像の細やかさを高めることはできましたか。皆さんは、人を想いながら、自分を想いながら自分を磨きましたか。

磨いたことは、あなたの内なる自信になっていますか。

成果があったと感じる人は、結果につながる努力ができたということです。すばらしいと思います。成果がまだ出ていないと感じる人は、今は頑張っている途中なのだと思います。どうか、頑張る気持ちを手放さないでください。北条高校在学中にその成果が実感できることを待ちたいと思います。

令和5年度が終わります。新年度第1学期始業式までの20日間、新学年での芽吹きや開花や結実に備えて、根を深く伸ばし広く張ってくれることを願い、3学期終業式の式辞とします。

令和6年3月19日

愛媛県立北条高等学校 校長 渡邊俊